

木曾ペインティングス Vol.2

けものみち

会期：2018年6月6日—21日

〈芒種〉にはじまり 〈夏至〉におわる

会場：長野県木曾郡/ 木曾町・上松町・木祖村

<http://www.kisopaintings.com>

■概要

タイトル：「けものみち」

会期：2018年6月6日（水）—6月21日（木）

開催地域：長野県木曽郡 ▶木曽町 ▶上松町 ▶木祖村

展示会場：【木曽町】本陣、旧田中邸、山吹館、美しき里わんぱく村

【上松町】木曽路美術館、公民館、森林の茶屋よろまいか 【木祖村】大つたや、藤屋

参加作家：泉里歩、伊藤美緒、今村仁、岩尾恵都子、岩熊力也、上田暁子、内堀麻美、大沢理沙、大曾根俊輔、鹿島理佳子、菊地風起人、衣川明子、胡桃澤千晶、近藤太郎、鈴木健司、高澤日美子、谷井夕菜、手塚美月、新野伽留那、葉山ひなの、平川恒太、福田由美エリカ、福濱美志保、藤浪美世、伏見恵理子、藤原裕策、宮嶋結香、山下勝彦、山中らら、山本晶、山本咲、山本聖子、義家麻美、若林菜穂（34名）

主催：木曽ペインティングス実行委員会

後援：上松町、（一社）上松町観光協会、（一社）木曽人、木曽観光連盟、木曽町、木曽町教育委員会、木祖村、日義公民館各分館

企業協賛：海老屋、（株）御菓子司 田ぐち、（株）加藤組、（株）中善酒造店、木曽駒オートキャンプ場、木曽猟友会日義支部、那須野工業（株）、ノケモノカタリ、BOCCA、マルオカ工業（株）、ゆうあい歯科医院、（有）すずき、（有）松岡新聞店

協力：木曽町・上松町・木祖村地域おこし協力隊、（有）木曽鉄工所、みやまの家、旅情庵、日義自治協議会、中沢木工、日義小中学校、地域住民のみなさま

■木曽ペインティングスとは

木曽ペインティングスは2016年9月に立ち上げられ、同年10月アーティストの胡桃澤千晶と藤原裕策を講師に迎え開催したワークショップ、「窓辺で光るトランスパレント紙のステンドグラス」からスタートしました。木曽ペインティングスとは、年に1度の展覧会イベント、アートフェスティバル「木曽ペインティングス」と、1年に複数回開催するワークショップを合わせて「木曽ペインティングス」とし、毎年開催します。

■なぜ木曽で開催するのか

現在のアートの中心地である東京と京都の中間地点である木曽は、かつて中山道を多くの旅人が往来し、宿場には東西の文化やトレンドがもたらされ住人と旅人が賑やかに交流した場所です。平成28年には中山道名称統一300年を迎え、観光客が増えつつある今、「場」の記憶に思いを寄せて木曽の地に東西よりアーティストが集結し自然に触れ住民との交流を通して木曽をテーマに制作し展示を行います。アートを介してアーティストは木曽への理解を深め、住民は木曽を再発見し、都心では決して生まれることのない芸術が木曽から生まれることを願い、この地で木曽ペインティングスを開催します。

■展示会場紹介



●宮ノ越宿・本陣（〒399-6101 木曾郡木曾町日義 2552）

中山道三十六番目の宿場として 1601 年に整備された宮ノ越宿。その中心に残る本陣。明治十六年の大火により居住部分を焼失するも客室部分は残り、平成二十八年に復元工事を終え開館する。

【展示】高澤日美子 平川恒太 藤浪美世 山本晶



●宮ノ越宿・旧田中邸（〒399-6101 木曾郡木曾町日義 2666）

田中家は宮ノ越宿の旅籠であったが明治十六年の大火で焼失。その後再建され住居として利用された。平成二十六年には修復復元工事が行われ、地域の交流の場として今に至る。

【展示】上田暁子 大曾根俊輔 宮嶋結香 山本聖子



●宮ノ越宿・山吹館（〒399-6101 木曾郡木曾町日義 94-1）

かつては公民館として住民の結婚式なども行われたが、いまは多世代交流プラザ山吹館として屋内ゲートボールや祭りの練習などで利用される施設。

けものみち開催中にはこの大広間で自由参加型市場、やまぶきバザールを開催する。

【展示】胡桃澤千晶 福田由美エリカ 藤原裕策



●宮ノ越宿 美しき里 わんぱく村（〒399-6101 木曾郡木曾町日義 1932-2）

「美しき里 わんぱく村」は子供たちが遊びながら自然を学ぶ場を作ろうと耕作放棄地だった 6.5 ヘクタールにツリーハウスやピオトープなどを造成。子供たちの秘密基地やブランコなどがある。

【展示】今村仁 手塚美月



●上松宿 木曾路美術館（〒399-5607 木曾郡上松町大字小川寝覚 2409）

創立者丸山利喜次により 1982 年に木曾唯一の美術館として開館。眼下に名勝寝覚の床を望み頭上には木曾駒ヶ岳を仰ぎ見る恵まれた環境にある。

【展示】泉里歩 伊藤美緒 岩尾恵都子 近藤太郎 鈴木健司 新野伽留那 葉山ひなの 福濱美志保 山下勝彦 山本咲 義家麻美 若林菜穂



●上松宿 森林の茶屋 よろまいか（〒399-5607 木曾郡上松町大字小川 3516）この施設は道路工事のため移転する事になった 150 年前に建てられた農家を町が移築・整備したもので、2 階は養蚕室として使われていた。同町の蔵などから見つけ寄り寄付された、保存状態の良い木製の生活道具も展示されている。

【展示】岩熊力也 鹿島理佳子 菊地風起人



●藪原宿 大つたや（〒399 - 6201 木曾郡木祖村藪原 1027）

お六櫛（おろくぐし）の製造元、お六櫛センター大つたやの古民家。

【展示作家】内堀麻美 衣川明子 谷井夕菜 伏見恵理子



●藪原宿 藤屋（〒399 - 6201 木曾郡木祖村藪原 1067）

かつては藤屋旅館として多くの人々が宿泊した場所。

【展示作家】大沢理沙

■構成

木曾ペインティングス展覧会 「けものみち」

展覧会会期 2018年6月6日(水)～21日(木) 〈芒種〉にはじまり 〈夏至〉におわる

展示会場

【本陣】高澤日美子、平川恒太、藤浪美世、山本晶

【旧田中邸】上田暁子、大曾根俊輔、宮嶋結香、山本聖子

【山吹館】胡桃澤千晶、福田由美エリカ、藤原裕策 【美しき里 わんぱく村】今村仁、手塚美月

【木曾路美術館】泉里歩、伊藤美緒、岩尾恵都子、近藤太郎、鈴木健司、新野伽留那、葉山ひなの
福濱美志保、山下勝彦、山本咲、義家麻美、若林菜穂

【森林の茶屋 よろまいか】岩熊力也、鹿島理佳子、菊地風起人 【大つたや】内堀麻美、鹿島理佳子、衣川明子、谷井夕菜、伏見恵理子 【藤屋】大沢理沙

開催時間と休日

本陣・旧田中邸・山吹館・森林の茶屋 よろまいか・大つたや・藤屋 ※ 9:00-16:00 (月曜休み) ※山吹館は6/9,16,17は17:00まで/美しき里 わんぱく村 終日開催 /木曾路美術館 10:00-16:00 (月曜休み)

「アルビノの木」上映会と監督のトーク

開催日：2018年6月10日(日) 13時半/場所：木曾町文化交流センター/ゲスト：金子雅和監督(下記参照)

木曾駒郷土玩具プロジェクト

みやまの家で作成した木曾駒木型にアーティストが着色などを施し木曾の木工民芸品の再興を目指し展示販売します。

木蘇皮プロジェクト

自然と共存しながら真に地域の生活と資源に根ざした文化の創出を目指し、地域資源から作りだした画材《墨、筆、染料》などを活用して持続可能なアートの在り方を模索します。

ワークショップ

木曾ペインティングスにおいてアーティストが企画し住民が参加するワークショップは展覧会イベントと並ぶ2本柱の大切なひとつです。2016年10月に開催した胡桃澤千晶・藤原裕策による「窓辺で光るトランスパレント紙のスタンドグラス」から始まり、2017年10月にはイギリス人アーティストのジョン・フランスを迎え「ハロウィンの闇から光へ」を日義公民館宮ノ越分館と共催で開催しました。地域イベントとの連携もはかり進めるワークショップは、2018年のGWに開催されるドミノプロジェクト会場での高澤日美子のワークショップ「わたしたち・動物たち・いきものたち」で8回を数えます。

アーティスト企画イベント

アートフェスティバルのために展示作家が企画したイベントです。

展示作家・上田暁子とパーカッショニスト・山岨直人の絵画制作空間パフォーマンスプロジェクト「EN ROUTE」/6/17 14:00～15:00 開催、旧田中邸2F

木曾フェス：展示作家・平川恒太による企画。シンガーソングライター伽羅奢、渡辺麻美、池田諒、米澤森人のライブと渡辺麻美×平川恒太の影絵パフォーマンスの開催。/6/16 17:00-19:30 入場料 1000円(1drink付き) 6/17 11:00-12:30 無料 いずれも山吹館※演目内容は異なります

地元商店とのコラボ企画

地元企業の商品に参加アーティストがラベルなどのデザインをして期間限定販売や、地元商店の壁を展示場所とし店主が吹き出しに自由に書き込みオリジナルポスターの作成展示、提供素材での作品制作など。

■ (株) 中善酒造店

地酒ラベルデザイン

A:鹿島理佳子 B:平川恒太

■複数商店/ 海老屋、だんぢり、フルハウス、他

オリジナルポスターの展示

C:菊地風起人 D: 岩熊力也



A



B



C



D

■ (株) 御菓子 司 田ぐち 商品パッケージデザイン 宮嶋結香

■マルオカ工業 (株) 提供素材での展示作品制作 岩熊力也、上田暁子、内堀麻美、衣川明子、谷井夕菜、伏見恵理子、宮嶋結香、山本晶、木蘇皮プロジェクト

旗挙げプロジェクト

木曾ペインティングスのメイン会場となる宮ノ越地区は木曾義仲の旗挙げの地です。土地の記憶と共に展示会の幕開けを日義小中学校の小学2、3、4年生と参加アーティストで祝い、開幕を宣言します。旗挙げプロジェクトは日義小中学校の協力で課外授業として生徒たちと一緒に準備されます。旗挙げ参加者がそれぞれの「志」と「名前」を書き込み、旗挙八幡宮での祭事後、色とりどりの旗を掲げ「旗挙げ」をし、その後宮ノ越地区を練り歩きます。のぼり旗は各展示会会場に立てられ会期終了まで木曾ペインティングスのシンボルとなり、来年へ引き継がれます。

やまぶきバザール

展示会場である山吹館の大広間で週末の3日間だけ、自由参加型市場「やまぶきバザール」を開催します。会場ではアーティストが企画したワークショップ「リトルけものモンスター」「ワクワクワークショップ」「木曾を染めよう！～木綿のハンカチ草木染め～」や、ステージではシンガーソングライターのライブや影絵パフォーマンスなどの「木曾フェス2018」が開催されます。

バザールへの出店は、地元木曾からはアクセサリを制作する Hatakeyama Tomoaki、Nasturtium、カブトムシときのこを販売する齊藤大さん、あけびのツルでリースや籠を作る Chocolate vine、飲食店ではタビタのパン、Mountain Muffin、ピッツアニコなどが出店。その他松本を拠点に活動する Pom Pom、東京から参加するのは人の秘密を売買するワークショップ、ひみつ屋など。

子ども達による作品鑑賞会(会期中の平日を予定)

日義小中学校の生徒を展示会場に招き、作品鑑賞会を開催します。

担任の先生やアーティストが質問や進行をしながら、子ども達が作品から感じた事を自由に話し合える場を作ります。多様な見方がある事を一緒に楽しみ、展示作家からもお話を聞きます。

■作家紹介

泉里歩 RIHO IZUMI

1995年 千葉県市川市生まれ

2014年 武蔵野美術大学 造形学部 油絵学科 油絵専攻 入学

2017年 武蔵野美術大学 造形学部 油絵学科 油絵専攻 卒業



伊藤美緒 ITO MIO

1995年 鳥取県生まれ

2013年 大分県立芸術文化短期大学 美術専攻卒業

2013年 武蔵野美術大学編入学 現在在学中

最近、夜明け前が気になっています。目にうつるものや、考えていることが一番愛おしく思える時間帯のように感じます。知らない内に大切にしていたものや、それに気づく瞬間を絵にしたいです。



木曾ペインティングス Vol.1 (2017年)

今村仁 IMAMURA JIN

1971年 東京生まれ 画家

TSA (東京芸術専門学校)卒業・Bゼミスクーリングシステム修了

おもに円形のキャンパスに顔をモチーフとした作品を制作。

人間におけるユーモア・諧謔・嗜虐的な側面を、絵画という形式をとおして形象化する。版画・立体作品も制作し、個展・グループ展にて発表をつづける。



木曾ペインティングス Vol.1 (2017年)

岩尾恵都子 IWAO ETSUKO

1993年多摩美術大学大学院美術研究科修了

学生時代は雲肌麻紙に岩絵の具を膠で溶いて絵画製作。

その後紆余曲折。キャンパスに油絵の具に変化し、2013年頃から人間と山や樹木が一体化した風景×人間を描いています。



岩熊力也 IWAKUMA RIKIYA

1969年 東京生まれ

1990年 日本大学芸術学部映画学科中退

1992-93年 イタリア・フィレンツェに滞在

1997年 Bゼミ終了

2004年 (財)ポーラ美術振興財団在外研修生としてメキシコシティに滞在

2008年 VOCA展 2008 大原美術館賞

イメージを水で洗い流した残像としての絵画や、歴史や伝説に取材したその断片から新たな物語を紡ぎだし展開したインスタレーションなどを国内外で発表。日本という社会空間における絵画表現の在り方を探る。

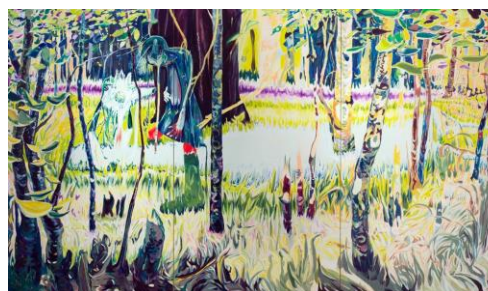


木曾ペインティングス Vol.1 (2017年)

上田暁子 UEDA AKIKO

1983年生まれ。小諸市在住。

主な個展に 2009年「世界は大きな花束でもある」清須市はるひ美術館、2014年「森はまだ種の中」小諸高原美術館、2015年「絵画が画家の寝顔を見る時」第一生命南ギャラリー、2017年「風穴」Yuka Tsuruno Gallery等。近年は倉敷大原美術館 ARKO、喜多方市夢アートプロジェクト、フランス、チェコ共和国をはじめとした国内外のレジデンスプロジェクトに参加。



内堀麻美 UCHIBORI ASAMI

1987年東京生まれ

2013年武蔵野美術大学卒業

2015年同大学彫刻コース修了

日常にあるモノを彫刻絵画で制作。



大曾根俊輔 OSONE SHUNSUKE

神奈川県生まれ

2002年 武蔵野美術大学 工芸工業デザイン学科卒業

2004年 東京藝術大学 大学院 文化財保存学専攻修了

2015年 工房茶虎 開設

乾漆技法を用いた、主に動物の彫刻を制作。

工房と自宅に4匹の猫がいて、うち3匹が茶色い虎模様のため工房名を茶虎とする。犬も好きだがやはり猫派。



鹿島理佳子 KASHIMA RIKAKO

1996年東京生まれ。武蔵野美術大学油絵学科4年次在学中。
「過程」に対する興味を制作における一貫したモチベーションとして持ち、
日常の些細な気付きを構造化した重層的な作品制作を行なう。
主な個展に「やり直し」(2017,東京)、主なグループ展に
「アタミアートウィーク」(2018,熱海)、
「彦根スチューデントアートアワード」(2017,彦根)、
「ライナスの毛布」(2017,東京)など。



木曾ペインティングス Vol.1 (2017年)

菊地風起人 KIKUCHI FUKITO

1995年北海道生まれ
2014年武蔵野美術大学油絵学科入学
最近は一世代前の有名人などの写真などを油絵にしてみました。
カメラ目線と飾らない笑顔がとても気持ちよく、現代には無い感覚が好き
です。この頃は自分の本質的な部分を模索する作業を試みており、油絵
に関しても変化していきそうです。



木曾ペインティングス Vol.1 (2017年)

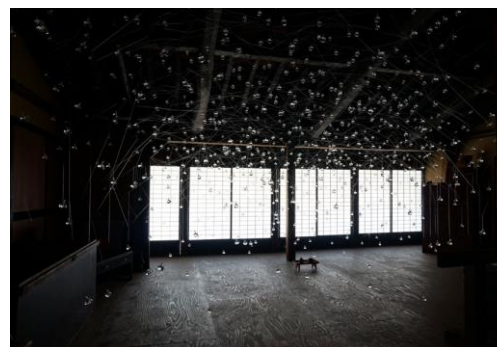
衣川明子 AKIKO KINUGAWA

1986 アメリカ生まれ
2012 武蔵野美術大学大学院 造形研究科美術専攻油絵コース修了
個展
2017 「糞して寝ようか」 URANO、東京
2015 「物、ナマ、共感」 ARATANIURANO、東京
2012 「αM プロジェクト 2012 絵画、それを愛と呼ぶことにしよう
vol.6 衣川明子」 gallery αM、東京
グループ展
2016 「Unusualness Makes Sense - Alternative Art Practices by
Thai and Japanese Artists」 チェンマイ大学アートセンター、チェンマイ、タイ
2015 「VOCA 展 2015 現代美術の展望 - 新しい平面の作家たち」 上野の森美術館、東京
2011 「Essential Ongoing〜静寂と狂気〜」 BankART Life III 新・港村、神奈川



胡桃澤千晶 KURUMIZAWA CHIAKI

1994年 多摩美術大学 絵画科陶芸専攻
卒業後、「水」に注目した
作品を展開。無数の水の玉によるインスタレーション作品や、人それ
ぞれの持つ歪みをテーマに、水を通して撮影した写真や映像などの
作品を発表。



木曾ペインティングス Vol.1 (2017年)

近藤太郎 KONDO TARO

1995 年生まれ

神奈川県伊勢原市出身

2014 年 武蔵野美術大学油絵学科入学

2018 年 武蔵野美術大学油絵学科卒業

主に自分の空想のイメージを油絵で描きます。最近は空間と身体、
絵画の関係になんとなく興味があります。



木曽ペインティングス Vol.1 (2017 年)

鈴木健司 SUZUKI KENJI

1966 年生まれ 現代美術家 京都造形芸術大学洋画コース卒。
2007 年シェル美術大賞展入選。国内外での個展・グループ展多数。

「見えないけどそこにある」vision をかたちにする。
あるいは様々な「もの」を組み合わせることで image を紡ぐ。
そのように作品を生み出し、作品と空間の関係性の在り方を追求している。



高澤日美子 TAKASAWA HIMIKO

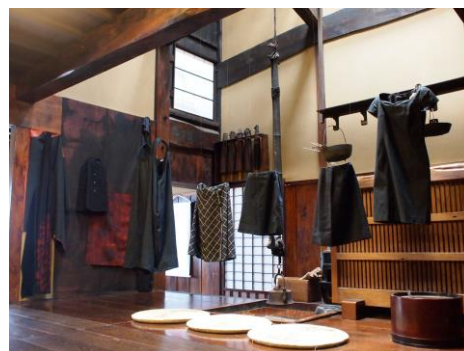
東京都生まれ

1993 年創形美術学校実技専科絵画コース修了。

1995 年メキシコへ移動、1996 年メキシコ国立絵画彫刻
版画学校“ラ・エスメラルダ”入学。2000 年、Bienal

Nacional Diego Rivera コンクールにおいてドロイー
ング部門入賞。2002 年上記美術学校“ラ・エスメラル
ダ”修了、2010 年 Licenciado en Artes Plásticas 取得。

2007 年より日本在住。個展の他、様々なグループ展に参加。
制作の傍、NPO 法人“手をつなぐメキシコと日本”に於いて
メキシコと日本の文化芸術交流活動に務める。



木曽ペインティングス Vol.1 (2017 年)

谷井夕菜 TANII YUNA

1986 年 東京生まれ

2016 年 3 月 武蔵野美術大学大学院 版画コース 修了

版画、絵画を主に制作



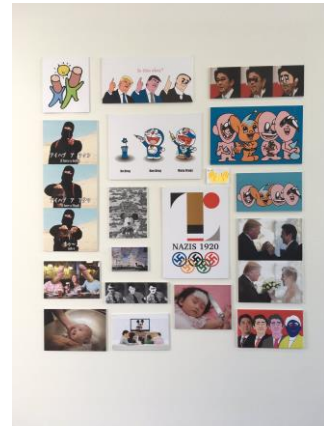
手塚美月 TEZUKA MIZUKI

1997年 埼玉県生まれ

2016年 武蔵野美術大学油絵学科 入学

現在 在学中

コラージュ、グラフィック、絵画



新野伽留那 NIINO KARUNA

1993年 埼玉県生まれ

2015年 武蔵野美術大学 造形学部 油絵学科油絵専攻 入学

現在 在学中

大学のゴミ箱に捨てられていた木片を拾って人間に見立てたり、人間関係に見立てたりして制作していました。これからまたどうするかわかりません。絵を描くと思います。



木曾ペインティングス Vol.1 (2017年)

葉山ひなの HAYAMA HINANO

1995年 神奈川県藤沢市生まれ

2017年 武蔵野美術大学 油絵学科 卒業

現在 武蔵野美術大学 大学院 美術専攻油絵コース 在学中



平川恒太 HIRAKAWA KOTA

1987年 高知県生まれ。東京芸術大学修士課程修了、絵画を中心に制作。絵画史や戦争画、歴史画などを題材に、現代の社会を描き出す。大きなテーマに『記憶のケイショウ』があり、絵画やアートでなければ、ケイショウ（継承、形象、警鐘）できない記憶と忘却を表現する。主な展覧会や受賞に2014「VOCA展」上野の森美術館、2013「アートがあればII」東京オペラシティアートギャラリー、2013「アートアワードトーキョー丸の内」三菱地所賞などがある。



福田由美エリカ FUKUDA YUMI ERICA

1996年静岡県生まれ

2015年武蔵野美術大学入学 在学中

作品を見て生活の中での経験や感覚が思い出されることに興味があり、制作をしている。



福濱美志保 FUKUHAMA MISHIHO

1992年 香川生まれ、東京育ち

2017年 武蔵野美術大学造形学部油絵学科油絵専攻卒業

2017年 「エクササイズ & Grandscape 石原康佑・福濱美志保」

LOKO GALLERY

ミニチュア構造物を風景に見立てて大画面に描く《Grandscape》シリーズを軸に制作している。どこかで見たことあるような、でも知らない景色が目の前に立ち上がるのが面白い。普段の制作で抽象的なドローイングも行っており、絵画で表現できることを探っている。



藤浪美世 FUJINAMI MIYO

誰かの声を自分の声にして、存在を攪拌もしくは強化する。

たとえば、実際のラブレターを複製し再編集し、多声的な声として回収する。

2015 武蔵野美術大学油絵学科卒業 卒業制作展にて優秀賞受賞

個展「新世代への視点2015 藤浪 美世展」

2017 グループ展「群馬青年ビエンナーレ2017」入選

「BankArt OPEN STUDIO Artist in Residence 2017」参加



伏見恵理子 FUSHIMI ERIKO

1987年埼玉県生まれ。

武蔵野美術大学大学院造形研究科修士課程美術専攻油絵コース修了。

絵を制作。

手のひらサイズの紙に描いた絵のにじみやかすれを、画布に拡大して描いている。

紙と画布という異なるもの間の移動において、

絵の質が似ながらもずれていくことにより、

知らない風景が生まれると考えている。

《一葉》(2015)は2つに折りたたんだ紙を本のように広げた姿と、小川の景色、蝶の形を重ね描いた。



《一葉》

藤原裕策 FUJIWARA YUSAKU

1968年 岡山県生まれ

1993年 東京芸術大学美術学部油画専攻卒業。(1995年 修士課程修了)
板に彩色と彫りを施した独自の技法による「板画」を中心とした平面作品や、
インスタレーション等を国内外で発表している。



木曾ペインティングス Vol.1 (2017年)

宮嶋結香 MIYAJIMA YUUKA

1985年 福島生まれ

2009年 女子美術大学芸術学部洋画専攻 卒業

2015年 HB Gallery Competition Vol.26 藤枝リュウジ特別賞

2016年 HB Gallery Competition Vol.27 永井裕明大賞

動物を多くモチーフとして独自の視点から描いていく。

国内外で個展、グループ展多数。



木曾ペインティングス Vol.1 (2017年)

山下勝彦 YAMASHITA KATSUHIKO

長野県木曾出身 1975年生まれ

1998年 京都精華大学 美術学部ビジュアルコミュニケーション学科 修了

2000年 BeeDesigns. 設立

エアープラシアート 彫刻

巨大壁画の職人として活動

大塚製薬鳴門製品倉庫 壁画通りの絵師担当

最大サイズ50m×30m

各地に壁画、シャッターアート300か所以上施工実績。

店舗のデザイン内装施工も手掛けアートの世界を取り入れながら
業務を手がける。

目標は黒部ダムに壁画を描く。



ブログ <http://blog.livedoor.jp/beedesigns/>

山中らら YAMANAKA RARA

1998 千葉県出身

2018 武蔵野美術大学油絵学科油絵専攻在学中



山本晶 YAMAMOTO AKI

画家。

「見ていないもの」を「見える」ものに変換してしまう絵画のシンプルな構造を油絵やインスタレーションで展開。

人の目の不確かな時間の蓄積が作る色や形は、個人に帰属せず、住んでいる地域、共同体という場に回収されてしまう点に着目している。



山本咲 YAMAMOTO SAKI

絵織、絵描き、マフラー作家

東京生まれ。

織物を学び、2年に1回ペースに26年にわたって作品を発表。

織物と同時に独学で絵画を描き続け、途中から織物で絵を描きだす。

テーマはミボリンから始まり、心の動き、宇宙まで生家のアトリエの中で幅広いテーマを扱っている。



山本聖子 YAMAMOTO SEIKO

大阪府在住。

2006年 京都造形芸術大学大学院芸術研究科芸術表現専攻 修了

2004年 大阪芸術大学芸術学部美術学科立体コース 卒業

2011年 六甲ミーツ・アート芸術散歩 2011 公募大賞

2011年 Tokyo Midtown Award 2011 アートコンペ グランプリ

2004年 学長賞（大阪芸術大学卒業制作展）



均質的に区画整理されたニュータウンを支配する独特の空気や、その街や人間、生活の在り方などに対する違和感を制作の出発点にしている。代表的な作品に、不動産チラシなどで使われる「間取り図」をそぎ落とされた情報として用いたシリーズがある。近年はメキシコやオランダでの滞在経験から、身体性や現代におけるアイデンティティの在り方について考察した映像作品など、新たな手法を展開している。

義家麻美 YOSHIIE ASAMI

1994 長野県生まれ

2016 武蔵野美術大学 油絵学科 油絵専攻 卒業

2018 長野県在住

油絵、ドローイング、インスタレーションなど



若林菜穂 WAKABAYASHI NAHO

1991年東京生まれ 2013年武蔵野美術大学造形学部油絵学科入学

在学中主に絵画を制作。

グループ展や個展にて作品を発表。

物事の間合いに生じるムードや距離感を絵画制作により捉えることを試みる。

また、均質化の進む時代における固有性について考える。



木曾ペインティングス Vol.1 (2017年)

■ゲストアーティスト

金子雅和 KANEKO MASAKAZU (映画監督)

1978年東京都生まれ。

青山学院大学国際政治経済学部(スラヴ世界の歴史と文化専攻)卒。

大学在学中にイメージフォーラム附属映像研究所の助手をし、8mm/16mm フィルムで習作的な映像制作を始める。のち、古書店で働きながら映画美術学校に通い、瀬々敬久監督の指導を受ける。

同校フィクションコース高等科の修了制作に企画が選ばれ初監督した『すみれ人形』は、07年ひろしま映像展などで受賞、08年都内6週間レイトショー公開、09年DVDが発売(発売元:TMC)。ハンブルグ日本映画祭(ドイツ)にて正式上映される。

その後、企業VP/CM、ケーブルTV番組、ゲーム用映像などの撮影・演出の仕事に携わりながら、WEB配信用の企画や自主製作、及びに助成企画に選出されて6本の短編映画を監督。

その内の一本である『水の足跡』(2012年・きりゅう映画祭助成作品)は、ゆうぱり国際ファンタスティック映画祭、オーディトリウム渋谷などで上映され、山形国際ムービーフェスティバル2013にて準グランプリを受賞。

2016年、第二回長編監督作『アルビノの木』が北京国際映画祭のコンペにノミネート、テアトル新宿で劇場公開。2016年度日本映画監督協会新人賞の候補作となる。

ポルトガルの国際映画祭フィゲイラフィルムアート2017で最優秀長編劇映画賞(グランプリ)、最優秀監督賞、最優秀撮影賞をトリプル受賞。

スウェーデン・ヴェステロース映画祭2017で最優秀撮影賞受賞、台湾・福爾摩沙国際電影獎2017で最優秀アジア映画賞、他これまでに6ヶ国7つの国際映画祭で11受賞。

2018年4月には、池袋シネマ・ロサで『アルビノの木』凱旋上映+金子雅和監督特集(過去作一挙上映)が開催される。

公式サイト <http://www.kinone.net/kinone/index.html>

アルビノの木公式HP <http://www.albinonoki.com>

「アルビノの木」 ストーリー

自然と人間の関係を真摯に見つめ直した金子雅和監督の

『アルビノの木』は、農作物を喰い荒らす害獣駆除に従事する若者が、山に生きる人たちにとって、長きにわたって特別な存在として敬ってきた一頭の白鹿を撃つために山へ入っていくストーリー。

2018年6月9日(日) 木曽町文化交流センター2F
13:00開場 13:30上映 上映後監督のトーク
無料上映

木曽ペインティングス Vol.1/2017では、泉原昭人主宰の短編映画上映会

「ハンズボン映像展」で金子雅和監督の「失はれる物語」を上映しました。

—2017年6月3日 宮ノ越・義仲館 / 2017年6月4日 上松町・ねざめ亭 にて



■お問合せ先

木曾ペインティングス実行委員会

長野県木曾郡木曾町日義 4898-522

Mail : kisopaintings@gmail.com

FB : <https://www.facebook.com/kisopaintings>

※今後開催内容に変更する可能性もございますので、ご掲載時には、ご面倒でもご一報いただけますようお願いいたします。また、下記の広報用画像をJPGで用意しております。必要な場合はメールにてご連絡ください。



1



2



3



4



5



6



7



8



9



10



11



12



13



14



15



16



17

1 パンフレットデザイン/2 木曾ペインティングスロゴ/3 アルビノの木プログラム/4 やまぶきバザールロゴ/5 商店コラボ・田ぐち×宮嶋結香/6 商店コラボ・中善酒造店×鹿島理佳子/7 商店コラボ・中善酒造店×平川恒太/8WS・ワクワワークショップ/9 WS・リトルけものモンスター/10 WS・わたしたち・動物たち・いきものたち/11 WS・木曾を染めよう！～木綿のハンカチ草木染め～/12WS・好きなもののかたち/13 木曾駒郷土玩具ロゴ/14 木曾駒郷土玩具・鹿島理佳子作/15 木蘇皮 P ロゴ/16 商店コラボ・マルオカ工業×木蘇皮 P /17 胡桃澤千晶作品・旧田中邸 2017